

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定のための調査票

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市は、平成27年度を初年度とする「地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画」において『みんなでつくる、「共に生きるまち』』を理念とし、様々な地域福祉及び福祉のまちづくりに係る取組を進めています。

このたび、令和3年度から令和8年度までの計画を新たに策定するに当たり、市民の皆様の地域福祉及び福祉のまちづくりに対するご意見を伺い、新しい計画策定の参考とすることを目的として「府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定のための調査」を実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和元年 10月 府中市

回答に当たってのお願い

1. **封筒のあて名ご本人**がご回答ください。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。
2. 何らかの理由でご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族や周りの方が代わりに記入してください。
3. 回答は、濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
4. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. の場合は回答内容等を記入してください。
6. 「その他」に○印をつけた場合は、[] 内に内容を具体的に記入してください。
7. 調査票、返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。

記入を終えた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

11月●日(●)までにご返送ください。(消印有効)切手は不要です。

記入に当たって不明な点がございましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部地域福祉推進課

TEL 042-335-4161

FAX 042-335-7802

E-mail : tiikifuku01@city.fuchu.tokyo.jp

対象者の抽出方法・個人情報の取扱い

この調査は、令和元年●月●日時点において、府中市にお住まいの18歳以上の方から無作為に抽出した3,000人の方を対象としています。

ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありません。

現行の府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画について

現行の地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画は、中央図書館や市のホームページでご覧いただけます。

府中市ホームページ (<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>)

行政情報のタブ ⇒ 施策・計画・審議会・協議会 ⇒

施策・計画 ⇒ 健康・福祉分野 ⇒ 府中市福祉計画 ⇒

府中市福祉計画 みんなでつくる、みんなの福祉 ⇒

府中市福祉計画 地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画

(第2編 地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画)

はじめに、あなたご自身のことをおたずねします

F 1 あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つに○)

*令和元年10月1日現在の年齢でお答えください。

1. 18~19歳 5. 35~39歳 9. 55~59歳 13. 75~79歳
2. 20~24歳 6. 40~44歳 10. 60~64歳 14. 80~84歳
3. 25~29歳 7. 45~49歳 11. 65~69歳 15. 85~89歳
4. 30~34歳 8. 50~54歳 12. 70~74歳 16. 90歳以上

F 3 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 自営業(家族従業の場合含む)・自由業 4. 家事専業
2. 正規の社員・職員・役員など 5. 学生
3. 非正規の社員・職員(契約社員・派遣・パート・アルバイト等) 6. 無職
7. その他〔具体的に: _____〕

F 4 世帯についておたずねします。世帯の人数はあなたを含めて何人ですか。

(1つに○)

1. 1人 → F6へ進む
2. 2人 } → F4-1へ進む
3. 3人 }
4. 4人 }
5. 5人 } → F4-1へ進む
6. 6人以上 }

F4-1 F4で「2. 2人」～「6. 6人以上」と答えた方におたずねします。
あなたと同居*している方はどなたですか。(いくつでも○)

*2世帯住宅は同居としてお答えください。

*配偶者の親族を含めてお答えください。

1. 配偶者(夫または妻) 4. 祖父、祖母
2. 子 5. その他〔具体的に: _____〕
3. 父、母

F 5 現在、同居している家族の中に、次のような方はいますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 乳児(1歳未満) | 5. 65歳以上の方 |
| 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 6. 身体・知的・精神等の障害のある方 |
| 3. 小学生 | 7. 介護・介助を必要とする方 |
| 4. 中学生・高校生 | 8. いずれもない |

F 6 あなたはどちらにお住まいですか。 内に記入してください。

<input type="text"/>	町	<input type="text"/>	丁目
----------------------	---	----------------------	----

F 7 あなたは府中市にお住まいになってから何年になりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 5. 10年以上 20年未満 |
| 2. 1年以上 3年未満 | 6. 20年以上 30年未満 |
| 3. 3年以上 5年未満 | 7. 30年以上 |
| 4. 5年以上 10年未満 | |

F 8 あなたのお住まいの地域には、自治会・町会等がありますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------------|-------------------------------|----------|
| 1. ある
→F 8-1へ進む | 2. ない | 3. わからない |
| | └──────────────────┘
問1へ進む | |

F8-1 F8で「1. ある」と答えた方におたずねします。あなたは、自治会・町会等に加入していますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 加入している | →問1へ進む |
| 2. 加入していない | →F 8-2へ進む |
| 3. 分からない | →問1へ進む |

F8-2 F8で「2. 加入していない」と答えた方におたずねします。自治会・町会等に加入していない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 人間関係などの関わりがわずらわしいから
2. 地域のイベントなどの活動が大変そうだから
3. 仕事や家事・育児・介護、趣味など自身の活動で忙しいから
4. 地域活動に興味がないから
5. 加入することのメリットがあると思わないから
6. 自治会・町会等がどのような活動をしているのか分からないから
7. その他〔具体的に： 〕

日ごろのご近所づきあいについておたずねします

問1 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
 2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる
 3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
 4. 交流はないが、顔をみれば近所の人だとわかる人がいる
 5. ほとんど近所づきあいをしない →問1-1、1-2へ進む
- } →問2へ進む

問1-1 問1で「4. ほとんど近所づきあいをしない」と答えた方におたずねします。近所づきあいを必要だと思いますか。(1つに○)

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要だと思わない
4. 必要だと思わない
5. わからない

問1-2 問1で「4. ほとんど近所づきあいをしない」と答えた方におたずねします。主な理由はどれですか。(3つまで○)

1. 普段つきあう機会がないから
2. 仕事や家事・育児等で忙しく時間がないから
3. 同世代の人が近くにいないから
4. 引っ越してきて間もないから
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
6. あまりかかわりをもたたくないから
7. その他〔具体的に： _____ 〕

地域における支え合いについておたずねします

問2 あなたは、地域で住民同士の支え合いがされていると思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問3 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてほしいですか。手助けをしている・したことはどのようなことですか。

(1)～(9)の①手助けできること、②手助けしてほしいこと、③手助けしている・したことがあることについて、あてはまるもすべてに○をつけてください。

	①	②	③
	手助けできること	手助けしてほしいこと	手助けしている・したことがあること
(1) 安否確認の声かけ			
(2) 話し相手			
(3) 悩みごと、心配ごとの相談にのること			
(4) ちょっとした家事（買い物、ごみ出し、電球交換、玄関前の掃除、庭の木の剪定など）			
(5) 短時間の子どもの預かり			
(6) 保育園・幼稚園の送迎			
(7) 病院の付き添い			
(8) 病気のときの看病			
(9) 高齢者の見守り			

地域活動やボランティア活動についておたずねします

問4 あなたは、以下のような地域での活動に参加していますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. ラジオ体操 | 8. 自治会・町会の活動 |
| 2. 趣味活動 | 9. 子ども会等の活動 |
| 3. お茶会、サロン | 10. シニアクラブの活動 |
| 4. 清掃活動 | 11. 文化センターの活動 |
| 5. 祭り・盆踊り | 12. 特にない |
| 6. 防災活動 | 13. その他〔具体的に： _____〕 |
| 7. 運動会 | |

問5 あなたは、ボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------|---|----------|
| 1. 週3回程度取り組んでいる | } | →問5-1へ進む |
| 2. 週1回程度取り組んでいる | | |
| 3. 月2回程度取り組んでいる | | |
| 4. 年1、2回程度取り組んでいる | | |
| 5. 全く取り組んでいない | } | →問5-2へ進む |
| 6. 取り組むことができない | | |

問5-1 問5で「1. 週3回程度取り組んでいる」または「2. 週1回程度取り組んでいる」、「3. 月2回程度取り組んでいる」、「4. 年1、2回程度取り組んでいる」と答えた方におたずねします。

どのような活動に取り組んでいますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 自治会・町会等の活動 | 8. 自然環境保護などの環境活動 |
| 2. 見守り・子育て支援活動 | 9. 国際交流活動 |
| 3. 青少年の健全育成に関する活動 | 10. 地域防災活動 |
| 4. 高齢者を支援する活動 | 11. 健康づくり・介護予防活動 |
| 5. 障害のある人を支援する活動 | 12. スポーツ・文化活動 |
| 6. 交通安全活動 | 13. その他〔具体的に： _____ 〕 |
| 7. 犯罪や非行をした人を支援する活動 | |

問5-2 問5で「5. 全く取り組んでいない」または「6. 取り組むことができない」と答えた方におたずねします。活動していない主な理由はどれですか。

(3つまで○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 興味のある活動がない | 7. 体調がすぐれない |
| 2. 活動に関する情報がない | 8. 一緒に活動する仲間がいない |
| 3. 経済的負担が大きい | 9. 人間関係等がわずらわしい |
| 4. メリットを感じない | 10. 参加方法がわからない |
| 5. きっかけがない | 11. 特にない |
| 6. 仕事や家事・育児・介護等で時間がない | 12. その他〔具体的に： _____ 〕 |

問6 あなたは、ボランティア活動について、どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(3つまで〇)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 活動情報の提供がある | 8. 身体的な負担が少ない |
| 2. 友人等と一緒に参加できる | 9. 活動経費が支給される |
| 3. 身近なところで活動できる | 10. 謝礼金が出る |
| 4. 活動時間や曜日を選べる | 11. 家事・育児・介護への支援がある |
| 5. 気軽に参加できる | 12. 就労先が従業員の活動を支援する |
| 6. 適切な指導者やリーダーがいる | 13. 特にない |
| 7. 特技や知識が活かせる | 14. その他〔具体的に： _____〕 |

問7 あなたが活動の拠点として利用している施設はどれですか。(いくつでも〇)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 文化センター | 8. 図書館 |
| 2. 市民会館「ルミエール府中」 | 9. 小学校・中学校 |
| 3. 市民活動センター「プラッツ」 | 10. 民間の施設〔具体的に： _____〕 |
| 4. ふれあい会館 | 11. 個人宅 |
| 5. 生涯学習センター | 12. 特にない |
| 6. 教育センター | 13. その他〔具体的に： _____〕 |
| 7. 国際交流サロン | |

問8 あなたは、地域の課題を解決するために、どのような方策が必要だと思いますか。
(3つまで〇)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 自治会・町会等の活動への参加を勧める | 8. 身近に相談できる人々を増やす |
| 2. 地域の集まりへの参加を促す | 9. 地域の担い手となる人々を増やし連携する |
| 3. 地域活動・ボランティア活動を活発化させる | 10. 住民同士が支え合いができる仕組みをつくる |
| 4. 退職後の人々が力を生かせる機会を増やす | 11. 地域の問題を専門的な福祉サービスにつなげる |
| 5. 高齢者や障害者等の社会参加を促す | 12. 住民と行政をつなげるパイプ役を果たす組織を増やす |
| 6. 地域の見守り活動を活発化させる | 13. 特にない |
| 7. 誰もが気軽に来られる居場所を地域に増やす | 14. その他〔 _____〕 |

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問9 あなたは、あるいはご家族は現在、日常生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。(3つまで○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 8. 住まいに関すること |
| 2. 自分や家族の老後のこと | 9. 地域の治安のこと |
| 3. 生きがいに関すること | 10. 災害時の備えに関すること |
| 4. 子育てに関すること | 11. 差別や偏見、人権侵害に関すること |
| 5. 介護に関すること | 12. 特にない |
| 6. 経済的なこと | 13. その他 |
| 7. 隣近所との関係 | 〔具体的に： _____ 〕 |

問10 あなたは、悩みや困りごとを相談できる人がいますか。(1つに○)

1. いる →問 10-1 へ進む
2. いない →問 11 へ進む

問 10-1 問 10で「1. いる」と答えた方におたずねします。
どのような人・機関に相談をしていますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 家族や親族 | 8. 社会福祉協議会 |
| 2. 近隣の人、友人、知人 | 9. 地域福祉コーディネーター |
| 3. 自治会・町会等の人 | 10. ボランティア団体・NPO 法人 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 11. 保育所、幼稚園、学校の先生 |
| 5. 同じ悩みや問題を抱える仲間 | 12. ケアマネジャーや福祉施設の関係者 |
| 6. 行政の相談窓口 | 13. かかりつけ医や保健師等医療関係者 |
| 7. 地域包括支援センター | 14. その他〔具体的に： _____ 〕 |

* 行政の相談窓口は、市役所、保健センター、子ども家庭支援センター、地域生活支援センター、男女共同参画センター「フューラル」、児童相談所、保健所等の窓口を示します。

問11 あなたは、地域のなかで次のような世帯を見かけたり、相談を受けたことがありますか。(いくつでも○)

1. 子育てと親の介護に、同時に直面して困っている世帯
2. 高齢者の親と、就労していない独身の中高年の子どもで構成されている世帯
3. 障害のある子をみている親の判断能力に不安がある世帯
4. 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯
5. ごみが処分されていない世帯
6. ひきこもり状態の人が、適切な支援に結び付けられていない世帯
7. 家族や地域とのかかわりがなく、社会的に孤立した世帯
8. 特に見かけたことはない

問12 市や都等に設置されている、福祉に関する相談窓口についておたずねします。

(ア) 次の相談窓口をご存知ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| 1. 行政の相談窓口 | 11. 地域生活支援センター「み～な」「あけぼの」「プラザ」「ふらっと」 |
| 2. 民生委員・児童委員 | 12. 子ども家庭支援センター「たちち」「しらとり」 |
| 3. オンブズパーソン制度 | 13. 地域子育て支援センター「はぐ」 |
| 4. 地域包括支援センター | 14. 男女共同参画センター「フューラル」 |
| 5. 権利擁護センターふちゅう | 15. 社会福祉協議会 |
| 6. 心身障害者福祉センター | 16. 地域福祉コーディネーター |
| 7. 子ども発達支援センター「あゆの子」 | 17. 市民活動センタープラッツ |
| 8. 児童相談所 | 18. 消費生活センター |
| 9. 保健センター | 19. 知っているものはない |
| 10. 都の保健所 | |

(イ) 上記の相談窓口を利用するにあたっての課題はどれですか。(いくつでも○)

1. どの相談窓口に行けばよいか分からない
2. 相談窓口が遠い
3. 相談窓口が開いている時間に行けない
4. 相談の予約をすることが面倒
5. 個人情報漏れがないか不安
6. どのような人が相談員をしているか不安
7. 相談員の言動によって不快な思いをするかもしれないと不安
8. 人に打ち明けることに抵抗がある
9. 相談しても悩みが解決するか分からない
10. 特にない
11. その他〔具体的に： _____〕

問13 あなたは、公的機関に相談したいとき、どのような形態であれば相談したいと思えますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 来所相談 | 4. メールでの相談 |
| 2. 相談員が自宅等に訪問する相談 | 5. SNS*を使った相談 |
| 3. 電話相談 | 6. 特にない |
| | 7. その他〔具体的に： _____〕 |

SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)

ネットワーク上のコミュニケーション機能をもったサービス全般を指す。
(メール、掲示板、無料通話アプリ、ゲーム、画像投稿サービス等)

問14 あなたは、地域包括支援センターの役割や機能をご存じですか。(いくつでも○)

1. 高齢者の総合的な相談を行っている
2. 介護予防の支援や相談を行っている
3. 認知症に関する生活相談や財産管理の相談を行っている
4. 成年後見制度の周知活動を行っている
5. 高齢者虐待の早期発見や対応をしている
6. 悪質な訪問販売・電話勧誘などの被害相談を行っている
7. 地域のネットワークを活用し、高齢者の実態把握を行っている
8. まったく知らなかった

問15 あなたは、権利擁護センターふちゅうの役割や機能をご存じですか。(いくつでも○)

1. 福祉サービスの利用や、金銭・財産管理に関する支援を行っている
2. 相続や権利侵害などの法律相談を行っている
3. 成年後見制度の周知活動や相談を行っている
4. 成年後見人の方々の情報交換の場を提供している
5. 権利擁護の人材のすそ野を広げるために市民向けの講座を行っている
6. ひとり暮らしの方への見守りや入院時等の保証人に準じたお手伝いをしている
7. 老いじたくについての相談を受け、ご本人の支援計画を作成している
8. まったく知らなかった

問16 保育や子育て支援、高齢者や障害のある方への福祉サービス、健康づくり、ボランティア活動等、市の福祉に関する情報についておたずねします。

(ア) 日ごろの情報の入手先はどこですか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 家族や親族 | 8. 民生委員・児童委員、ケアマネジャー、保育士等 |
| 2. 近隣の人、友人、知人 | 9. NPO等の民間団体 |
| 3. 町内の回覧板 | 10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 |
| 4. 広報ふちゅうや市のパンフレット | 11. インターネット(市のホームページ以外) |
| 5. 市のホームページ | 12. フェイスブック・ツイッター等のSNS |
| 6. 行政の相談窓口 | 13. 情報を得たことはない |
| 7. 社会福祉協議会 | 14. その他〔具体的に： 〕 |

(イ) 情報入手する際、困っていることはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 情報量が少ない | 7. 視覚障害者や弱視者のための情報提供が不十分 |
| 2. 情報量が多すぎる | 8. 聴覚障害者のための情報提供が不十分 |
| 3. ほしい情報が少ない | 9. 外国人のための情報提供が不十分 |
| 4. 情報の内容がわかりにくい | 10. 困ったことはない |
| 5. 情報入手の手段が少ない | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 情報入手の方法がわからない | |

福祉のまちづくり*についておたずねします

問17 現在、府中市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路等について、障害のある人や妊婦、子ども連れ、高齢者等が利用しやすいように整備されていると思いますか。(1)～(11)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

		整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない
建築物	(1) 車いすの方や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	1	2	3	4	5
	(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
	(3) 車いすの方、乳幼児を連れた方等誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
道路・交通機関等	(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれた歩道や道路	1	2	3	4	5
	(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
	(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス	1	2	3	4	5
	(7) 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
情報案内等	(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
	(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
	(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストラン等	1	2	3	4	5
全体	(11) (1)～(10)や公園、道路等を含むまち全体のユニバーサルデザイン*	1	2	3	4	5

福祉のまちづくり

高齢者、障害者、子ども、外国人などを含めたすべての人がありのままに、自らの意思で暮らし、社会参加をし、自己実現を図ることができるような社会の実現に向け、ユニバーサルデザインの理念に立ったまちづくりを進めること

ユニバーサルデザイン

道路・住宅・製品等を設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰もが使えるものを作るという考え方

問18 あなたは、街や近所で、障害のある人や高齢者、妊婦、乳幼児を連れた方等に、次のようなお手伝いをしたことがありますか。(いくつでも○)

1. 乗り物で席を譲った
2. 荷物を持った
3. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸した
4. 車いすやベビーカーを押したり、持ち上げたりするのを手伝った
5. 道を教えた
6. 扉を開けた
7. 話しかけたり、声をかけたりした
8. 車で送り迎えをする等、外出の手助けをした
9. 何もしたことがない
10. その他〔具体的に： 〕

問19 人にやさしいまちづくりをすすめるためには、高齢者や障害のある方々が利用しやすい建物等の整備をすすめるだけでなく、市民一人ひとりの理解と協力、いわゆる「心のバリアフリー」を実現していくためにどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 広報紙、テレビ等を通じて、多くの方が福祉に関する情報にふれる機会が増えること
2. 地域の行事等により、市民が高齢者や障害のある人と直接交流する機会が増えること
3. 高齢者や障害のある人等へのボランティア活動に多くの方が参加するようになること
4. 学校で高齢者や障害のある人とともに学習すること等により、子どもころから自然に接する環境で過ごすこと
5. 車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚えることのできる体験が活発に行われるようになること
6. その他〔具体的に： 〕

問20 福祉のまちづくりを実現するために、優先的に取り組む必要があると思うことは何ですか。(3つまで○)

1. 高齢者、障害者、乳幼児を連れた人が歩きやすい道路の整備
2. 公共施設や公共交通機関のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン
3. わかりやすく利用しやすい案内標示の設置等、情報提供の充実
4. 憩いの場である公園・河川の整備
5. 高齢者や障害者が住みやすい住宅の整備
6. 交通安全や防犯等、安全、安心に暮らすための体制整備
7. 福祉のまちづくりに対する理解の促進
8. わからない
9. その他〔具体的に： 〕

災害時の支え合いについておたずねします

問21 あなたは、災害を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。

(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 家族の所在、安否の確認方法 | 8. 避難所生活でのプライバシー |
| 2. 家具の転倒防止 | 9. 食糧や日用品などの生活物資 |
| 3. 家屋の強度 | 10. 乳幼児・高齢者等向けの物資 |
| 4. 自身や家族の歩行に不安があること | 11. 医療機関、診療、薬の入手 |
| 5. 避難所がはっきりわからないこと | 12. 精神的なストレス |
| 6. ペット(犬・猫など)の避難のこと | 13. 特に不安や心配ごとはない |
| 7. 正確な情報の入手 | 14. その他〔具体的に： 〕 |

問22 あなたは、災害に備えて地域で取り組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認
2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実
3. 地域で防災訓練をすること
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成
5. 地域内外の団体等との日ごろからの交流
6. 地域で物資を備蓄すること
7. 商店や企業と災害時の協力体制をつくること
8. 支援が必要な人を把握しておくこと
9. わからない
10. その他〔具体的に： 〕

問23 災害時、地域で手助けが必要な方に、あなたができることは、どのようなことですか。(いくつでも○)

1. 避難所での支援活動
2. 要配慮者(高齢者、乳幼児、障害者、妊産婦等)への安否確認
3. 要配慮者(高齢者、乳幼児、障害者、妊産婦等)への避難誘導
4. 子どものいる家族への手助け
5. けが人の手当て
6. 避難所での支援活動
7. 水や食糧の提供
8. 協力することはできない・むずかしい
9. その他〔具体的に： 〕

福祉に対する考え方についておたずねします

問24 あなたは、次のことを知っていますか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

	内容まで 知っている	言葉聞いた ことがある	知らない
(1) 発達障害・学習障害	1	2	3
(2) 高次脳機能障害	1	2	3
(3) 若年性認知症	1	2	3
(4) 障害者差別解消法	1	2	3
(5) 生活困窮者自立支援法	1	2	3
(6) 成年後見制度	1	2	3

発達障害・学習障害

発達障害は、脳の機能障害があり、それによって生活や学習に困難さをもつ障害のこと。学習障害は、読み書き能力や計算力など算数機能に関する特異的な発達障害のひとつ。

高次脳機能障害

病気や交通事故など、様々な原因によって脳に損傷をきたしたために生じる、言語能力や記憶能力、思考能力、空間認知能力などの認知機能や精神機能の障害のこと。

若年性認知症

18歳から64歳までに発症した認知症性疾患（アルツハイマー病、脳血管型、前頭側頭型、レビー小体型など）の総称のこと。

障害者差別解消法

平成28年4月1日から施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」のこと。国の行政機関や地方公共団体と民間事業者に対して、障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止や障害者への合理的配慮の提供が規定されている。

生活困窮者自立支援法

平成27年4月1日から施行された法律。生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住居確保給付金の支給その他の生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講ずることにより、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的としている。

成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法的に支援する制度のこと。

問25 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに○)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4. 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5. 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう

問26 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。(1)～(7)について、あなたの考えに最も近いものに1つずつ○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない
(1) 障害のある人とない人が、地域社会の中でともに生きるのが当然の姿である	1	2	3	4	5
(2) 経済的困窮の問題は、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	1	2	3	4	5
(3) 生活保護受給者に対する偏見や差別があると感じる	1	2	3	4	5
(4) ひきこもりやニートは、本人や家族だけでなく、社会全体の問題だと感じる	1	2	3	4	5
(5) 児童や高齢者の虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	1	2	3	4	5
(6) DV*被害を防ぎ、被害者を支援するために、地域でのつながりが重要である	1	2	3	4	5
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	1	2	3	4	5
(8) 地域づくりには、障害の有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、すべての地域住民と多様な主体が参画し、つながりながら取り組むことが重要である	1	2	3	4	5

DV (ドメスティック・バイオレンス)

配偶者や恋人等親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力等あらゆる暴力が含まれる。

最後に府中市の福祉施策についておたずねします

問27 あなたが現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

	満足	どちらでもない	満足していない
(1) 隣近所等とのつきあい	1	2	3
(2) 自治会・町会等の活動	1	2	3
(3) 地域の交流	1	2	3
(4) サークルやボランティアの活動	1	2	3
(5) 地域の防災対策	1	2	3
(6) 保健福祉サービス	1	2	3
(7) 相談できる体制	1	2	3
(8) 買い物等の便利さ	1	2	3
(9) 道路や交通機関等の使いやすさ	1	2	3
(10) 公的な手続きの便利さ	1	2	3

問28 府中市ではどのような福祉施策に優先して取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(3つまで○)

1. 福祉意識を高めるための意識啓発の強化
2. 福祉制度・サービス・相談窓口等に関する情報提供の充実
3. 相談窓口の充実
4. 学校教育や社会教育での福祉教育の充実
5. ボランティア団体・NPO法人などの人材育成
6. 企業の社会貢献活動への参入の拡大・活性化
7. 地域における福祉活動の活動費や運営費を集めるしくみづくりに関する情報提供
8. 福祉サービスの質と量の確保
9. 防災や防犯に関する取組の充実
10. 市民・団体・行政の連携と協働の推進
11. その他〔具体的に： 〕
12. わからない

問29 府中市の福祉やまちづくりへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。



——ご協力ありがとうございました——